

## シリア攻撃反対！！

アメリカのオバマ大統領は8月31日に、シリアのアサド政権が化学兵器を使用したとして、「軍事行動を起こさねばならないと決断した」と声明を発表した。

今後、議会の承認を求め、採択されればシリアに対して空爆が開始されることとなる。

イギリスは議会でシリアの化学兵器使用を罰するための軍事行動を求める動議を否決したが、フランスのオランド大統領はターゲットを限定した攻撃を依然支持するとし、必要ならば国連安全保障理事会の承認を得ないで軍事行使に踏み切る構えを示している。

日本では、自民党の石破茂幹事長が31日、シリアのアサド政権が化学兵器を使用した証拠が明確であれば米国がシリア攻撃に踏み切った場合に支持すべきだとの考えを示した。



声明を発表するオバマ米大統領

## 武力で平和は築けない！！



シリア攻撃に反対する米市

武力で平和が築かれないことは、この間の歴史が証明しています。英議会が冷静な判断をしたことは、当然のことです。

「大量破壊兵器」などないことがわかっていながらイラク戦争に突き進んだことから、戦争を起こしたい権力者の狙いは別にあることを私たちは見抜かなければならない。

いつの時代も、「聖戦」「平和のための戦い」などと美辞麗句を並べて利益追求し、その犠牲になるのは、労働者・市民、そして何の罪もない子供たちだ。

いかなる戦争にも正義はない。戦争に反対する声を発し、それを大きく拡大しよう！

いかなる戦争にも正義はない。戦争に反対する声を発し、それを大きく拡大しよう！



戦禍に巻き込まれたシリアの子供